

九州教区青年活動報告

2021年9月

九州教区 伝道センター 共育部門 家次早紀（福岡中部教会）

① 九州教区における青年活動の状況

現時点では、九州教区全体としての具体的な取り組みは行われていない。しかし、九州教区全体として掲げている宣教基本方針、並びに宣教基本方策（例：「子ども、青年が出会い、学び合うプログラムを実施し、私たちも共に歩むことを目指します」）に基づいて祈りつつ青年に対するアプローチを行っている。具体的には、伝道センターという組織の中に4つの部門（平和・人権部門、共育部門、宣教協力部門、広報部門）を設置し、それぞれの部門ができる範囲で青年に対するアプローチや集会等を実施している。

例えば、宣教協力部門はフィリピン、マバト地区の教会（貧困地区での宣教活動を主とする教会）と協力し、スタディーツアーを実施しており、教区内外から青年が参加している。

また、平和・人権部門と共育部門が協力して実施する「反核・平和セミナー」においては、子ども、青年、そして大人が共に平和についての課題を分かち合うための取り組みとして「こどもプログラム」を行っている。このプログラムには中高生、大学生、神学生も参加しているため、青年同士の良い交流の機会となっている。

また、各地区、各教会において合同の夏期キャンプ等が行われており、顔の見える範囲での交流が続けられている。

しかし、新型コロナウイルスの感染が各地で広がる中、いずれの取り組みも断念せざるを得ない状況が続いている。

② キリスト教主義学校

九州教区内には、教団関係のキリスト教主義学校が4校ある。福岡女学院（大学、専門学校、高校、中学）、活水学院（大学、専門学校、高校、中学）、長崎学院（長崎外国語大学）、鎮西学院（大学、高校）である。九州教区の各地区は、それぞれの学校と連帯して共に福音宣教を担っている。